| 学校番号 | ３００７ |
|---|---|

# 令和８年度　工業科（電気科）

| 教科 | 工業 | 科目 | 工業技術基礎 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 実教出版　工業技術基礎　新訂版 | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

工業に関する基礎的技術を実験・実習を通して体験的に習得し、各分野における技術への興味・関心へつなげたい。基礎基本を大切にし、工業に関する広い視野を養いながら、報告書の作成指導など３年間の土台を作ります。

2　学習の到達目標

工業に関する基礎的な技術を実験や実習によって体験し、各分野の工業技術への興味・関心を高めるとともに、将来の産業社会に貢献し、主体的に対応できる能力と態度を身につける。

（１）　工業の各分野に関する基礎的な技術を身につける。

（２）　工業技術に関する基本的な知識や技術をもとに、技術者として判断する能力を身につける。

（３）　工業技術に意欲的、実践的に取り組む態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技術 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 工業の各分野に関する基礎的な技術を身に付け、工業の発展と環境・資源との調和や現代社会における工業の意義や役割を理解している。 | 工業技術に関する諸問題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識や技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する能力を身に付けている。 | 工業技術に興味・関心を持ち、意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 通年 | 電気工事実習 | 基礎作業 | a:電気工事の単位作業について理解するとともに、基本的な技術を身に付ける。<br>b:出題された課題について、必要な技術を判断し、課題に取り組むことができるか。<br>c:実際の電気工事の現場において注意しなければいけない点について考えまとめることができるか。 | レポート<br>作品点 | レポート | レポート<br>取り組む姿勢の観察 |
| | 電子制御実習 | BASIC の基礎<br>BASIC の応用 | a:BASIC を用いてプログラムを論理的に組み立てる知識を身に付ける。<br>b:求めたい結果にどのようにプログラムを立てれば良いのか考え、目的にまで到達する。<br>c:実習で得たプログラミング能力を用いて、発展した課題に取り組むことができるか。 | レポート<br>作品点 | レポート | レポート<br>取り組む姿勢の観察 |
| | 工作技術実習 | テスタとラジオの製作<br>電気溶接 | a:実習で用いる機器の使用方法を守り、正しく使用できるか。<br>b:学んだ技術を用いて、作業に必要な技術を使い分け、完成までの手順を組み立てられるか。<br>c:準備から後片付けまで積極的に取り組み、適切な作業環境を作ることができているか。 | レポート<br>作品点 | レポート | レポート<br>取り組む姿勢の観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度